

「インデペンデンス・デイ」
ウィル・スミス 最新作

「リクルート」ブリジット・モイナハン 「クロウ 飛翔伝説」アレックス・プロヤス 監督作品

NS-5
DOMESTIC ROBOT

友なのか、敵なのか

i,ROBOT
アイ,ロボット

サイバー・アクション超大作

3原則対応

WWW.IROBOTNOW.JP

9,18(SAT.) 日劇1他全国拡大ロードショー

日本はまさにロボット大国

日本で描かれてきた“ロボットたち”は、まさにその時代と文化の象徴であった。

手塚治虫の「鉄腕アトム」を筆頭に、「鉄人28号」、「ジャイアントロボ」、「マジンガーZ」、「ガンダム」、「ロボコン」、「コロ助」、ゴジラの宿敵「メカゴジラ」、「Dr.スランプ アラレちゃん」、「ドラえもん」などなど枚挙に暇がない。

そして21世紀。いよいよ“AIBO”や“QRIO”のSONY、“ASIMO”のHONDA、そしてTOYOTAなど各企業がロボット作りに参加し、未来のシンボルとして登場させ始めた。

本作同様、ロボットと共存する我々の未来は、もうそこまで来ている。

世界初、未来派次世代型ロボット “NS-5”の誕生

“NS-5”のI-ジェネレーションに備えよう
(Get ready for the I-Generation)

それは、超高性能 (Incredible)、人工知能 (Intelligent)、理想の現実 (Ideal) を掲げた未来派次世代型家電ロボット。

“NS-5”は、3原則対応 (3Laws Safe) のロボット
3原則とは—人類とロボットとの共存を目的とした法律である。

- 1) ロボットは、人間に危害を加えてはならない。
- 2) ロボットは、人間から与えられた命令に服従しなければならない。
- 3) ロボットは、前掲第一条及び第二条に反するおそれのない限り、自己を守らなければならない。

「i,ROBOT/アイ,ロボット」は、ウィル・スミス(「インデペンデンス・デイ」「メン・イン・ブラック」)主演で贈るアクション・ミステリー超大作である。

9月、いよいよその未来の全貌が明らかになる。果たしてその未来は、あなたが夢に思い描いた未来だろうか。

i,ROBOT
アイ,ロボット

9月18日(土) 日劇1他 全国超拡大ロードショー